

●「札幌市民の戦争体験～平和に関する学習資料」の作成について

札幌市では、戦争の悲惨さを語り継ぐことにより、平和の尊さを知ってもらうため、平成20年度から各区の主催で、主に子ども向けに戦争を体験した方々のお話を聴く会を開催し、体験談を記録していく次世代継承事業に取り組んでいます。

このたび、その体験談を札幌市教育委員会と共同で「札幌市民の戦争体験～平和に関する学習資料①」として冊子にまとめました。編集に当たっては、小中学校、高校等の教員の協力を得て、子どもたちに分かりやすいように、表現を工夫するとともに注釈やイラストを豊富に入れていきます。

今後札幌市では、平和都市宣言20周年に当たる平成24年までに100人の話を聴き取り、順次冊子化していく予定です。

この体験談を読むことにより、より多くの子どもたちが、戦争の悲惨さを知り、平和について考え、さらに次の世代へ語り継いでいってくださることを期待しています。

1 概要

(1) 規格・作成部数

A4判（表紙カラー、本文2色、121ページ）、2,000部

(2) 内容

平成20年度中に聴き取りした30人分の体験談を「第1章 戦場・軍隊」「第2章 銃後の暮らし」に分類し掲載

(3) 監修等

監修：前「新札幌市史」編集員 西田 秀子氏

アドバイザー：北海道大学名誉教授 井上 勝生氏

(4) 編集

札幌市、札幌市教育委員会

2 活用方法

(1) 市内の市立小中学校、高校に配布し、各校における平和に関する教育の充実に活用

区分	活用場面
国語科(小学校)	平和教材を学習する際、戦争の悲惨さなどについて調べる資料として想定
社会科(小中学校、高校)	歴史学習を行う際、第2次世界大戦等が人類全体に惨禍を及ぼしたことや平和な世界を築くことの大切さなどについて、調べて考える資料として想定
道徳(小中学校)	自他の生命の尊重や世界の人々の親善および世界の平和と人類の幸福への貢献などについて、考えを深める資料として想定

(2) 札幌市研究開発事業「平和に関する教育」実践研究会による普及

小中学校、高校の校種ごとに、当該冊子等を活用した教材化や指導方法の工夫などについて実践研究を行い、平和に関する教育の普及を図る。

- (3) ホームページへの掲載
市民や学校からの閲覧を想定

3 配布方法

冊子は夏休み明けごろに各学校へ配布する予定
(配布内訳)

- ・小学校 209 校 (6 年生の学級数分+予備)
- ・中学校 100 校 (2 年生の学級数分+予備)
- ・高校 8 校 (各校 5 冊) など

4 その他

今回作成した「札幌市民の戦争体験」は、子ども用に体験談を抜粋して編集しています。戦争体験者が語った原文に近い体験談集については、平成 24 年に 100 人分をまとめて発刊する予定です。

問い合わせ先

市民まちづくり局地域振興部区政課 澤本

電話 211-2252

8月は平和月間

～日本には、忘れてはならない夏がある～

● 平和月間関連事業について

札幌市では、8月を「平和月間」と位置付け、市民の皆さんに平和の尊さを再認識してもらうためのさまざまな事業に取り組みます。

8月は、広島・長崎への原爆の投下や終戦という、日本人として忘れてはならない日々が集中し、戦争や平和について考えるのに最もふさわしい月。終戦から65年目に当たるこの時期に戦争の悲惨さを伝えることで、多くの皆さんに平和への思いを新たにしたいと考えています。

1 ヒロシマ・ナガサキ原爆展

(1) 開催日時 平成22年7月30日(金)～8月13日(金) 9:00～17:00

※ 土・日曜日を除く。

(2) 会場 市本庁舎1階ロビー

(3) 内容

- ・被害状況の解説パネル30枚(7/30金～8/6金)
- ・被爆者が描いた絵30点(8/9月～8/13金)
- ・被爆実物資料20点

・「平和へのメッセージ※」入選作品

※ 市内の小学5・6年生と中学生を対象に、平和への思いを表現したメッセージやイラストを募集する事業。今年度は、2,736点の応募があり、優秀賞受賞者6人は、平和訪問団として、長崎市に派遣される。

・メッセージコーナー(国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館へ)

・署名コーナー(平和市長会議を通じて核保有国や国連へ)

・平和の絵本閲覧コーナー

(4) 行事 ○被爆体験証言(いずれも10:30～11:10)

7月30日(金) 社団法人北海道被爆者協会会長 越智晴子氏

8月11日(水) 社団法人北海道被爆者協会常務理事 服部十郎氏^{じゅうろう}

○平和子どものつどい 8月12日(木) 10:30～12:00

市内小中高生5人が平和学習の発表をするほか、市内在住の方から空襲体験のお話を聞き、意見交換をする。

問い合わせ先：市民まちづくり局区政課 (Tel211-2252)

平和こどものつどいのみ

札幌市教育委員会指導室 (Tel211-3861)

2 平和訪問団派遣

(1) 日時 平成22年8月7日(土)～8月9日(月)

(2) 内容 「平和へのメッセージ」の優秀賞受賞者6人を長崎市へ派遣。長崎市主催の全国青少年交流事業(青少年ピースフォーラム)に参加し、被爆施設の見学や平和祈念式典への参列を通して、戦争の悲惨さや平和の尊さについて理解を深めてもらう。

問い合わせ先：市民まちづくり局区政課 (Tel211-2252)

3 平和講演・映画上映会

- (1) 日 時 平成 22 年 8 月 14 日 (土) 午前の部、午後の部とも内容は同じ。
午前の部 10:00～12:50
午後の部 14:00～16:50
- (2) 会 場 札幌市教育文化会館小ホール
- (3) 内 容 ○講演 (講話と被爆体験手記の朗読劇)
講師: 女優 柳川慶子氏
○映画「父と暮せば」上映 2004 年度公開作品
監督/黒木和雄 主演/宮沢りえ 原作/井上ひさし
- (4) 参加費 無料
- (5) 定 員 各 360 人 (多数時抽選。入場整理券または落選通知を発送)
- (6) 申し込み 札幌市コールセンター
電話 222-4894 ファクス 221-4894 Eメール info4894@city.sapporo.jp
- (7) 申込期限 8 月 6 日 (金)

問い合わせ先: 市民まちづくり局区政課 (Tel211-2252)

4 各区平和事業

各区の主催で、地域にお住まいの戦争を体験された方の話を、子どもたちに伝えていく次世代継承事業に取り組んでいる。(現時点で日程が判明している区のみ。通年事業のため、現時点での予定を掲載)

※授業取材の場合は、事前に学校へ連絡願います。

日程	場所 (主催区)	備考
8 月 10 日 (火) 14:00～	菊水元町児童会館 (白石)	会館利用児童
8 月 25 日 (水) 午前	中央区役所 (中央)	高校生インターシップ取材
9 月 8 日 (水) 14:15～	西野小学校 (西)	授業
11 月 30 日 (火) 午前	厚別中学校 (厚別)	全校集会

問い合わせ先: 各区役所総務企画課

5 「札幌市民の戦争体験～平和に関する学習資料」の作成

別紙資料のとおり

6 中央図書館「戦争と平和を考える本」の展示

中央図書館で、平和月間である 8 月に、戦争に関する児童書を集めた展示を実施する。(図書数が限られるため、初日以降、貸出により図書数は減少)

問い合わせ先: 札幌市中央図書館業務課

担当 原、伊藤 (Tel: 512-7320)